

団塊の世代に農業を

定年帰農者支援講座



▲団塊の世代が参加した講座

定年を迎える団塊の世代の定年者に農業への関心と知識を深めてもらうことを目的とした講座を十一月九日、南淡路農業改良普及センターで開催しました。南あわじ市では、これらの人たちが今後の南あわじ市の農業を支えていく「農業後継者」や「担い手農家」に発展することを期待して引き続き「定年帰農者支援講座」を開催します。

会議には定年退職し家庭菜園を始める人、産地直売店へ野菜などを出荷している人など二十人が参加しました。第一部の講演会では同セン

ターの真野文夫所長から、「他産業で培った様々な知識や才能、技術を持った人々を迎え、担い手として農業生産に生かすことが重要」と提案がありました。第二部では「農業の適正使用について」と題し県農林水産技術センター専門技術員の小舟博文氏から農業散布の注意事項などが指摘されました。

今回の講座（日程未定）への参加者を募集しています。申込み、問い合わせは農林振興課（☎43・5025）まで。

森の役割や大切さを学ぶ

「ひょうご森の日」イベント

昨年十月に三田市で開催された「第二十九回全国育樹祭」を契機に盛り上がった森づくりの機運を継続するため、「ひょうご森の日（毎年十月の最終日曜日）」が制定され、県下各地域で森づくりや森の役割を学ぶイベントが開催されています。

市内では、十月二十九日、八木小学校四年生の親子約百人が「親子ふれあい活動」として、淡路ふれあい公園で様々な体験活動を楽しみました。

イベントでは、竹を利用したバームクーヘン作りや丸太切競争、木工細工、下草刈りが行われ、子どもたちの歓声が包まれました。

参加した子どもは、「自然は大切だとわかった。未来の地球を緑でいっぱいにした」と話していました。



▲丸太切競争を楽しむ子どもたち

技能功労者を表彰

永年優れた技能で、地域社会の発展に貢献した方の功績を讃える「南あわじ市技能功労者表彰式」が十一月二十三日、三原市民センターで行われ、次の方々に市長から表彰楯が手渡されました。（順不同、敬称略）

岩口 尹一（八木、理容師）、高岡 秀秋（志知、自動車整備士）、秀光 剛（倭文、自動車整備士）、酒部 節子（市、美容師）、上田 茂喜（市、製菓衛生師）、福永 勇夫（市、畳職）、北川 富嗣（賀集、石工）、波戸 崎勇（広田、塗装工）、中嶋 良一（湊、建具工）、大屋 昇（志知、電気工事士）、津川 浩路（八木、電気工事士）、谷間 孝（福良、製麺業）、吉川 友康（神代、造園業）、吉田 為夫（神代、造園業）、谷池 健司（津井、製瓦業）、前池 一哉（北阿万、大工）、太田 博（北阿万、左官）、細川 直（志知、左官）、山中 勝美（灘、左官）、古池 武郎（福良、真珠核製造）

南あわじ市女性のつどいを開催



▲一人で人形を操作する、「阿波木偶箱回しを復活する会」の中内正子さん

南あわじ市連合婦人会（奥井光子会長）では、十一月十日、西淡公民館で「女性のつどい」を開催し会員ら約

百二十人が参加しました。同つどいでは、「春よこい箱廻し三番叟・えびす舞に思いをのせて」と題し、芝原生活文化研究所による人形浄瑠璃を題材とした講演がありました。

箱廻しは、二つの木箱に入れた数体の木偶人形の操作や口上を一人で行う人形浄瑠璃。元旦からの約四週間、徳島県の上野山間部の家庭、七百軒を訪ねて浄瑠璃を演じ、福を授けています。

年末年始の業務案内

- 市役所、出張所、連絡所、支所、公民館**
29日～3日まで休み。
※総合窓口では出生・婚姻・死亡などの届出を受け付けます。
- 診療所**
阿那賀・伊加利・瀬・沼島診療所 = 29日～3日まで休み。
休日応急診療所 = 23ページに掲載。
- 文化・観光施設**
図書館 = 19ページ掲載。玉青館 = 29日～3日まで休み。
淡路人形浄瑠璃資料館 = 28日～4日まで休み。
淡路人形浄瑠璃館・大鳴門橋記念館 = 11日～31日まで休み。
鳴門みさき荘 = 25日～31日まで休み。
- 宿泊施設**
サンライズ淡路（温泉、体育施設とも） = 無休。
サイクリングターミナル = 27日～31日まで休み。
慶野松原荘 = 24日～29日まで休み。
- 体育施設**
文化体育館・西淡社会教育センター・西淡グラウンド・B&G・賀集・沼島 = 29日～3日まで休み。三原健康広場・阿万 = 28日～3日まで休み。サンライズ淡路 = 無休。温水プール（サンプール） = 28日～4日まで休み。ゆとりっく（プール・フィットネス） = 温泉と同様。
- 温泉施設**
ゆとりっく（温泉） = 31日・1日休み。30日は午前10時～午後6時、2日・3日は午後1時～7時まで営業。
さんゆ〜館 = 31日～1日休み。2日は午後1時から営業。
ゆ〜ぶる = 31日は午前10時～深夜3時、1日は9時～深夜0時、2日は午前6時～深夜0時、3日は午前10時～深夜0時まで時間延長。サンライズ淡路 = 無休。
湯の川荘 = 29日～3日まで休み。
- 粗大ごみ処理場（奥畑処理場 ☎24-1676）**
30日は8時30分～正午まで業務、31日～3日休み。

可燃ゴミを焼却場へ直接持ち込むときは・・・ 園生活環境課 ☎43-5024

区分	緑地域から持込み	西淡・三原・南淡地域から持込み
場所	やまなみ苑（広田広田） ☎45-0534	南あわじ市清掃センター（八木寺内） ☎42-1356
業務時間	月～金曜日 8:30～16:30、土曜日 8:30～11:45 祝祭日・日曜日は休み。 12月29・30・31日は8:30～16:30まで業務。	月～金曜日 8:30～16:30、祝祭日 8:30～正午、土・日曜日は休み。 12月29日・30日は8:30～16:30、12月31日は8:30～正午まで業務。
注意事項	①市指定のゴミ袋を使用して持込みされても手数料が必要です ②家具などの粗大ゴミは、金属・ガラスなどの不燃物を取り外してから持込んでください ③必ず時間内での持込みをお願いします ④持込みに際して道路上にゴミが飛び散らないよう、荷台にシート掛けなどの処置をしてください ⑤農業用資材や家屋解体物、産業廃棄物は受入れができません	

日本和太鼓フェスティバルを開催



▲志知高校和太鼓部「翔（かける）」の演奏

古きよき日本の伝統文化・和太鼓を通じて、市民の文化向上と和太鼓愛好家の交流を図ってもらおうと、「兵庫のまつり」ふれあいの祭典「日本和太鼓フェスティバル」(同実行委員会主催)が十一月五日、文化体育館で行われ、約七百人が来場しました。

フェスティバルには、市内の四団体を含む十一団体が出演。華麗なパチさばきで奏でる威勢の良い音色を響かせ、場内を熱気に包み込みました。各団体の演奏後には、代表者のインタビュも行われ、「活動を通じて人との交流ができて楽しい」「聞く人に元気を与えられる」など、活動の魅力などが語られました。

郷土を守る『女性消防団員』募集中

あなたは地域の「ファイヤーレディー」
南あわじ市消防団では女性団員を募集しています。広報活動や地域防火指導など女性の特性を生かした活動を通して安全な地域づくりの一翼を担います。

◆活動内容（予定）
▽防火防災の広報活動
・児童防火指導（学校等を訪問し、消火器の使用方法等の説明。簡単な救護活動の指導）
・訪問指導（独居高齢者世帯等を訪問し、ガスコンロやストーブの取り扱いや緊急時の行動等の説明。防火意識の啓発）
▽女性のための救急救命法指導

◆組織 集落・地域に関わらず「女性分団」として独立
◆待遇 南あわじ市非常勤特別職、団員報酬年8千円から、出動手当、被服貸与、公務災害補償
◆募集人数 20人以内
◆入団資格 市内在住で18歳以上の女性
◆申込み 防災課 ☎43-5006